

平成 25 年 5 月 30 日

中央大学 学員会
昭和 50 年以降卒業
年次支部 支部長、幹事長各位

中央大学学員会 年次支部協議会
代表幹事 小 田 眞 一
事務局長 柳 田 晋 次
企画運営委員会 委員長 掛 水 省 三

中央大学学員会年次支部協議会 意見交流会の開催について

記

拝啓

梅雨前の新緑を楽しんでおられる事と存じます。

皆さま、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

中央大学学員会は、中央大学を卒業した同窓の集まりですが、年次支部協議会では、特に世代間の連携を推し進め、お互いに楽しみ、助け合えるような緊密なネットワーク作りを構築するため活動を行っています。そのため昨年より、学員交流委員会、IT化推進委員会、学生支援委員会の各委員会を立ち上げ、具体的な活動を行っております。各委員長は、平成年次卒業の方です。

平成もすでに 25 年となり、年次支部協議会では、学員同士の交流や友好関係の構築をさらに深め、さらに新たな活動を行うために、今回、昭和 50 年以降の支部の皆さまから、ご意見をお聞きしたくご案内申し上げます。参加無料です。

ご多用のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜ります様お願い申し上げます。

敬具

記

[意見交流会]

開催日時：平成 25 年 7 月 13 日（土） 10 時 00 分～13 時 00 分

開催場所：中央大学駿河台記念館 370 号室

出席者：昭和 50 年卒以降の支部長・幹事長等の皆さま

（年次支部協議会：執行部、委員長、顧問）

議題

- (1) 年次支部協議会 活動の紹介
- (2) 各委員会の説明
- (3) 意見交換会

※昼食：お弁当、お茶を用意致します。

平成25年度年次支部協議会、企画運営委員会総会スケジュール表

平成25年4月13日
企画運営委員会、年次支部協議会

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	摘要
大学行事への参加							☆ホームカミングデーへの参加		☆箱根駅伝応援			☆卒業記念パーティー	年次支部として参加を要請する。 各支部の支部長、幹事長等は参加が望ましい。
学生ボランティア活動への支援													大学の募金活動に協力する。
学員会行事への参加		☆5/15 幹事会 ☆学員役員総会 選挙学支部長会議					○幹事会等	○幹事会等					学員総会参加を要請する。 当日は、学員総会と学員会協議委員会が開催される。 幹事は、各幹事会様様を年次支部協議会に報告する。
○学員会主要課題への協力													学員会活動を掌握し、協調と年次支部での活動に活かす。
・大ネットワーク化への協力													各支部の総会など機会あるごとに、支援に関するPRを行う。
・白門支援金の協力													支部間交流を拡大し、ネットワークの拡大に結び付ける。
・各支部イベントへの相互参加													学員会活動模様の報告 ・大学評議員会模様の報告
年次支部協議会の開催	◎4/13					○ホームカミング協力・準備	○25年度進捗報告	○26年度役員選出実施・予算					企画運営委員会は検討する場であり、できるだけ資料の事前配布に心がける。
企画運営委員会の開催	◎4/13					○各種施策の推進と支援	○実施の進捗状況の確認			◎役員選定協議			年次支部ブース、年次各支部ブースへの支援、共同出店の検討
○企画運営委員会						○企画立案	○内容審議						来卒卒業の学生側の企画が具現化した段階で、年次支部の支援規模、内容を検討し、支援活動を開始する。
・ホームカミングデーへの活性化													支部未結成の学年には、企画運営委員が、キーマンなどの情報収集にあたり、順次、支部活動の実態、今後の支部活動
・新卒支部結成への支援													特に、若手年次支部を優先的に対話等を行い、今後の支部活動や年次支部活動への理解と共鳴をえることに力点を置く。
・年次支部未結成支部への結成支援													学員交流委員会との連携を図る。
・年次支部活動への若手支部参画支援(交流会)													○平成25年度計画 ・他支部間交流促進対策として学員会HP整備の本部への働きかけ ・若年層の学員会離れに対する活性化対策の事業受託 ・学員参加型異文化交流イベントの企画検討
○学員交流委員会(別添資料)													○平成25年度計画 ・各年度支組HPの保有率UP ・メールマガジンの充実 ・新卒者(新学員)のメールアドレスの付与
○IT化推進委員会(別添資料)													○2013年度支組選考方針 ・中大現役生の進路選択に寄与する支援 ・中大OB/OGのネットワーク構築(名簿リスト作成) ・進路選択支援(11月9日、代替11月16日) ・国際的に活躍する学員を多数輩出する大学を目指す、協力事業を提案する。
○学生支援委員会(別添資料)													協力事業を提案する等、広報活動をおこない 年次支部協議会の活動を知っていただく
○仮称「中央大学ブランドの再生(準備)委員会」													
⇒課題の抽出													
○広報誌の発行													
⇒検討													

平成25年度年次支部執行部役員
 代表幹事 小田 真一
 副代表幹事 松本 茂夫
 副代表幹事 山城 浩光
 事務局長 柳田 晋次
 事務局長 小竹 正倫
 総務部長 佐藤 愛子

顧問 正野 徳樹
 顧問 栗 勝弘
 顧問 増田 晃次郎
 会計幹事 平岩 弘邦
 会計監査 鈴木 康二

学員交流委員会委員長 山本 卓
 IT化推進委員長 小川 学
 学生支援委員会委員長 高宮 康之

年次支部協議会／学員交流委員会（来期事業計画）

提出者

委員長

山本 卓（平成二年支部）

提出日（平成 25 年 3 月 18 日）

1、他支部間交流（他支部開催イベントの相互参加）促進対策としての学員会HP整備の本部への働き掛け

[現状]

- ①年次支部に限らず、学員会の各支部では会員相互の親睦や会員の知的好奇心を満たすことなどを目的に趣向を凝らした各種イベント（講演会、花見会など）が企画されている
- ②これら支部主催のイベントは参加対象者によって下記の2種に分別される
 - (1)参加対象者を支部の所属会員に限定しているもの（支部長招待等も含む）
 - (2)参加対象者を広く他支部会員（学員）に公開されているオープン参加のもの
- ③現在、大学公式HPの【学員会(同窓会)】の頁に各支部が催すイベントを告知する欄【学員会の新着イベント】が設けられているが（裏面参照）、案内には参加対象者の区別なく告知されている
- ④因って会員は自らの所属している支部のイベントのみを閲覧することから、他支部主催オープン参加型イベントの「オープン参加」として告知が徹底しないために他支部間交流の機会が喪失されている

[対策]

- ①年次支部に限らず「学員の交流」を促すためには、支部が所属会員に参加を限定せず広く学員参加を公開（オープン参加）しているイベント、所謂「学員交流企画」は別立てで告知出来るよう大学や学員会本部にHPの修正、機能強化を働き掛ける
- ②年次支部協議会としては、HPによる「学員交流企画」の告知を推進する一方で、インターネット告知に馴染まない会員を抱える年次支部に対しては、引続いて郵送やFAXなどの紙媒体を活用していく必要がある（ネット告知に馴染まない会員を抱える支部は今でも個々の会員と確り「線」で繋がっているの、紙媒体は未だ有効に機能すると思われる）

2、学員会本部「若年層の学員会離れに対する活性化対策」の事業受託の本部への働き掛けとイベント企画

[現状]

- ①昨年5月12日開催の定時学員総会（協議員会）にて可決された「平成24年度学員会事業計画」で、事業（重点項目）の1[学員会活動、支部支援]に(4)「若年層の学員会離れに対する活性化対策」が盛り込まれている
- ②しかし残念ながら本部による「若年層の学員会離れに対する活性化対策」の事業化は捗っていない
- ③一方で事業（重点項目）1[学員会活動、支部支援]の(2)「支部活動支援の強化・充実」の②〈同期会(年次支部)結成支援〉が功を奏し、若年層の既卒未結成年次支部結成されるなどの成果は出ている
- ④上記支援により結成が図られた平成二年支部が白扇会(平成三年)支部と相計り「平成年次連携『つなぐ』プロジェクト」を発足させ、昨年8月に「北野大講演会」、同10月に「濱嘉之講演会」を企画し、延べ100名近い若年層中心の参加者を集客させた

[対策]

- ①学員会本部事業「若年層の学員会離れに対する活性化対策」を、若年層をも組織的に網羅し得る「年支部協議会」が支援すべく、本部と協議して「受託事業」のスキーム構築を図る
- ②平成二年支部が白扇会(平成三年)支部と相計って発足させた「平成年次連携『つなぐ』プロジェクト」を本部による「若年層の学員会離れに対する活性化対策」の一環として位置付けるべく「年次協議会」として本部に提案、来年度事業に盛り込み、併せて当該事業を年次支部協議会として受託すべく働き掛ける

3、「異文化交流」を掲げた学生のための学員参加型交流イベントの企画検討

以上

2013年度 計画(案)

学生支援委員会



2013年4月13日

年次支部協議会

2013年度学生支援運営方針



1. 現状認識 (Research & Review) ~私たちの認識~

- 中大現役生の進路選択に寄与する支援
 - 中大内定者・若手OB/OG(20代後半が中心)と中大現役就職活動生との接触機会の提供は、昨年で8回目。少人数での個別相談という形式が参加者の高い満足度を得られていることから、学生支援委員会 屋台骨の施策として継続の必要あり。
 - 模擬面接を初めて2012年秋に実施。年次が上のOB/OG(30代・40代)と現役就職活動生との接触機会の提供を開始。但し、面接手法や運営方法については検討の必要あり。
 - 従来の企画実施以外に、新たな支援策が必要か検討。

2. 中大OB/OGのネットワーク構築

- 年次支部協議会のもとでコラボレーションを初めて実施。本企画の趣旨に賛同くださる幅広いOB/OGのネットワークの構築ならびに新学員の取り込みに向けて今後重要。
- 上記支援策に適するOB/OGの起用にに向けて、リスト整備も必要。

2. 2013年度目標 (Goal) ~私たちの約束~

- 進路選択に寄与する支援策を通して、
 - ① 学生が思う自分のなりたい社会人像を自分自身でイメージできる。
 - ② 設定したゴールに向かって、自分自身で現状把握と今後の活動を具体化できる。
- 就職活動生の横の交流機会を提供、卒業後の年次支部としての交流に繋げる。

3. 計画 (Plan) ~私たちの行動~

- 進路選択支援企画の実施
 - 日程: 2013年11月9日(案) (代替: 11月16日)
 - 規模: 社会人(協力者)30人×就職活動生300人規模
 - 形式: ①進路相談会(年代層に厚みを持たせるよう内容を検討)
 - ②内定者協力を得た公開模擬面接の実施
 - ③企画実施日に、学生間あるいは社会人と学生の交流を促進する交流会の実施
- OB/OG名簿リストの作成(2013年度より着手)
 - 学生にとって魅力的な社会人、社会人からみた魅力的な社会人のリスト化。進路支援企画での最適なOB/OGの人選に寄与。副次的に学員会各種活動への呼び込みにも使用。
- その他
 - ①内定者(4年生・M2)を中心に、新学員との交流策を検討。
 - ②実施可能性を探りながらではあるが、部・ゼミ単位で、専門性の高い進路選択支援企画を個別に実施(例:セミナー/クイズ/専攻ゼミに、実務で活躍しているOB/OGの派遣検討)等、新規案の検討。

4. 予算 (Budget) ⇒ 詳細は次頁 ~施策費用~

(一管)	4~6月	7~9月	10~12月	合計
委託手数料		Facebook (1万)	媒体企画費 (5万)	6万円
印刷費	告知チラシ (4万)	告知チラシ (4万)	Poster(3万) 冊子(15万)	26万円
会議費			屋食(6万) 交流会(50万)	56万円
				88万円

4. 予算(Budget) 詳細

(一管)	～施策費用～												合計	備考 (試算)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	10～12月					
広告宣伝費														1万円	
委託手数料														5万円	
印刷費														8万円	
会議費														3万円	
その他														15万円	
													88万円		

準備
 掲載・配布
 ● 支払時期

Facebook



委託手数料



Poster・冊子
企画制作費

印刷費

告知チラシ
(キャリアセンター主催
ガイダンス時に配布)



8万円

1枚20円×2,000人相当
×2回

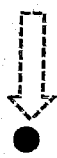
Poster



3万円

1枚150円×100部
×2回

冊子



15万円

1冊300円×500部想定

会議費

11/9
(代替11/16)
屋食費用



6万円

1200円×(参加社会人
30人+スタッフ20人)
計50人

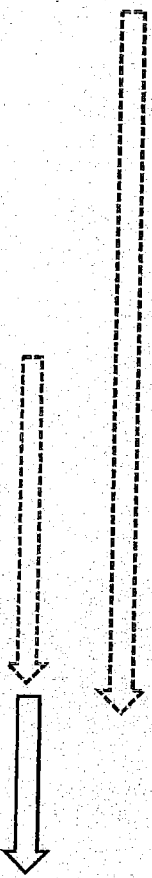
11/9
(代替11/16)
交流会費用



50万円

学生150人+社会人50人
計200人
3000円×200人
(社会人1人別途2000円
徴収)

OB/OG選定
企画詳細調整
新規支援策



再会Nightなど、学員を対
象としたイベントを別途検討

交流会は、①当日参加の学生と社会人の交流を促進、②学生間の交流を通して新規年次支部形成の足掛かりとすることを目的に実施予定。
 昨年度未計上の印刷費用を必要経費として申請、一方、交通費・講師費用・協力者謝礼は今年度は計上せず。
 新規支援策については、大学関係者と協議しながら、経費をかけるに実現できる内容を検討。

学会年次支部協議会 若手支部意見交流会 (2013/07/13)

「年次支部協議会」とは、
卒業後は、全員が学会（自動的に年次支部の会員）
学会の年次支部をつなぐことが目的

「目的」

- ※「年次支部、約60支部の連携のネットワークを構築する。」
- ① 自年次支部だけでなく、年次を超えて、気楽に、楽しくフレンドリーに交流する場や体制づくりを行う。
 - ② 先輩、後輩にこだわらず、学会として相互に協力する体制を構築する。
特に、先輩支部は、後輩支部の全面的なバックアップを行う。・・・先輩として、知恵や人脈の紹介等を行う。（口は控えめに）
 - ③ 学校法人中央大学、学生の支援を行う

「現在の活動」(別紙：今後の計画案)

- ① 学会交流委員会・・・学会同士のフレンドリーな交流を実現していく。
- ② IT化推進委員会・・・年次支部ホームページの制作支援（現在）、学会同士が交流できるイベント情報サイトの制作（今年度）
- ③ 学生支援委員会（就職支援）・・・就職セミナーを実施し、学生の就職支援に寄与する。

「お知らせ」・・・みんなで参加しよう。

- ① 10月19日（土）箱根駅伝予選会：昭和記念公園（立川）9時スタート
- ② 10月27日（日）ホームカミングデー（学会白門際）：多摩校舎10時～16時
年次支部協議会で出店（津軽産のりんご）します。（幹事：白門44会）

「ご意見」を頂戴します。（昭和50年次以降後卒業の方）

1. 会報の発行

- ① 1年に2、3回発行する予定。
- ② 年次支部協議会の活動状況を公開し、広く協力者を集める。(広報)
- ③ 学生が行うイベント(スポーツ、音楽会等)の紹介
- ④ 学員会各支部のイベントで、年次や地域を越えて参加できる行事をお知らせする。(例)箱根駅伝予選会応援、ホームカミングデー、箱根駅伝応援・・・
- ④ 中央大学卒業の有名人紹介
 - ・政治家 ・経済人 ・法曹界 ・芸術家 ・文化人 ・スポーツ界 等

2. 学員交流委員会「部会」開設について(案)・・・機会をとらえて交流

- ① 文化鑑賞部会・・・中央大学学生やOBのコンサート(吹奏楽団、オーケストラ、グリークラブ等演奏会)の鑑賞
- ② スポーツ応援部会・・・中央大学学生のスポーツ応援(駅伝、野球、水泳、ボート等)を行う。

3. (仮称)国際交流準備委員会

- ① (目的) 中央大学のグローバル化に寄与する。
- ② 学生同士(国籍を問わず)が気楽に交流する場を作る。
- ③ まずは、文化交流から
毎月、「000国デー」を休日に多摩校舎で実施し、広場を使った踊りや楽器演奏、教室を借りてのお国紹介を行う。
- ④ 協力要請先: 大学(場所の提供、国際交流センター)、学生文化サークル、
年次支部各支部
- ⑤ 準備: 協力要請、広報、

平成25年7月12日現在

若手年次支部意見交流会

支部名	役職	氏名
白門三九会	副幹事長	小竹 正倫
白門44会	企画委員	松木 茂夫
白門45会	幹事長	山城 博光
	事務局	平岩 弘邦
白門46会	欠席	
昭和48	代表幹事	小田 真一
	総務部長	佐藤 愛子
白門53会	支部長	野田 明利
	幹事長	権守 隆男
白門58会	支部長	小暮 隆美
	財政部長	柳 幸季
白門63会	幹事長	松尾 あずさ
	幹事長	小川 学
平成元年	会計監査	久保田 寿栄
	副会長	菊地 英治
	支部長	山本 卓
平成2年	幹事長	清水 裕之
		小林 良信
白扇会	欠席	
平成11年白門会	幹事長	久保 良太
2007	幹事長	間宮 廉之
2013	支部長	河上明日美
	幹事長	倉員 豪
顧問		室 勝弘
学生会本部事務局		胡麻本 太

欠席

出席者数 22
23名